

島根県の経済動向

平成20年6月30日
政策企画局統計調査課

平成20年4月分

先月からの主要変更点 なし

	4月分	3月分
総括判断	本県経済の動向は、個人消費はおおむね横ばい、生産活動は一部に弱い動きがみられるものの堅調に推移しているが、雇用情勢が弱含み、投資動向も基調として弱い動きが続いており、持ち直しの動きが足踏みしている。	本県経済の動向は、個人消費はおおむね横ばい、生産活動は一部に弱い動きがみられるものの堅調に推移しているが、雇用情勢が弱含み、投資動向も基調として弱い動きが続いており、持ち直しの動きが足踏みしている。
個別項目		

島根県の経済動向

平成20年6月30日
政策企画局統計調査課

平成20年4月分

本県経済の動向は、個人消費はおおむね横ばい、生産活動は一部に弱い動きがみられるものの堅調に推移しているが、雇用情勢が弱含み、投資動向も基調として弱い動きが続いており、持ち直しの動きが足踏みしている。

生産活動	→	～一部に弱い動きがみられるものの堅調に推移～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は107.2となり、対前年同月比は2か月振りにプラスとなった。また、大口電力需要実績は3か月連続で前年を上回っており、一部に弱い動きがみられるものの堅調に推移している。
雇用情勢	→	～弱含んでいる～	有効求人倍率は0.86倍で先月と同水準、新規求人数は5か月振りに前年を上回ったものの、常用労働者数は18か月振りに、現金給与総額、きまって支給する給与は2か月振りに前年を下回り、弱含んでいる。
個人消費	→	～おおむね横ばい～	ホームセンター販売額は2か月振りに前年を下回ったが、大型小売店販売額は3か月連続で、家電量販店販売額も2か月連続で前年を上回っており、おおむね横ばいとなっている。
投資動向	→	～基調としては弱い動き～	建築着工床面積は2か月振りに、公共工事請負金額は4か月振りに前年を下回った。新設住宅着工戸数も3か月連続で前年を下回っており、基調としては弱い動きが続いている。
企業倒産	→	～倒産件数10件～	企業倒産件数は10件。うち建設業は6件、製造業は1件。
金融情勢	→	～貸出金残高は22か月振りにプラス～	銀行預金残高は2か月連続で前年を下回った。銀行貸出金残高は22か月振りに前年を上回った。
物 価	→	～対前年1.4%上昇～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は101.1となり、対前年同月比1.4%増と6か月連続で上昇となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数 (平成20年6月30日公表)		景気動向指数の先行指数は2か月振りに50%ラインを上回った。一致指数は5か月振りに50%ラインを上回った。
	法人企業景気予測調査結果 (平成20年6月23日公表)		財務省松江財務事務所の景況判断は、現状(20年4～6月期)の景況判断BSIは▲30.7%ポイントと「下降」超幅が拡大している。 先行きについては、翌期(7～9月期)、翌々期(10～12月期)と「下降」超幅が縮小する見通し。

経済指標	前年同月比(*を除く)%						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
生産活動	* 鉱工業生産指数(季節調整済指数)	107.6	106.7	111.3	109.4	101.8	107.2
	〃 (原指数)	8.0	2.4	8.7	7.2	▲6.6	0.7
	大口電力需要実績	8.2	6.7	7.9	13.0	6.3	7.1
雇用情勢	* 有効求人倍率(倍)	0.89	0.87	0.87	0.88	0.86	0.86
	新規求人数	0.0	▲8.5	▲4.6	▲1.1	▲14.0	1.8
	常用労働者数	0.6	0.4	0.3	0.3	0.4	▲0.7
	現金給与総額	1.5	▲3.2	▲0.9	▲0.5	0.5	▲2.1
	きまって支給する給与	1.4	0.5	▲0.4	▲0.4	0.2	▲1.6
	所定外労働時間(製造業)	14.3	15.3	6.7	9.7	4.5	4.9
個人消費	大型小売店販売額	0.6	▲0.7	▲0.7	2.4	2.7	0.4
	ホームセンター販売額	2.1	▲0.7	1.8	▲1.2	4.1	▲0.2
	家電量販店販売額	▲2.1	1.9	4.8	▲5.4	18.4	14.5
	乗用車新車登録台数	▲3.7	▲4.9	0.9	▲0.7	▲3.7	11.5
	出雲空港利用者数	4.1	1.7	▲1.5	1.4	▲1.0	4.6
投資動向	建築着工床面積(非居住用)	▲83.6	75.2	▲13.9	▲21.7	113.8	▲66.5
	公共工事請負金額	▲30.4	▲18.8	104.4	43.0	16.9	▲25.9
	新設住宅着工戸数	7.9	11.8	6.3	▲57.5	▲1.8	▲38.0
企業倒産	* 企業倒産件数(件)	7	3	4	6	7	10
	* 負債総額(百万円)	2,958	123	1,072	1,125	560	1,770
金融情勢	銀行預金残高	▲0.1	1.5	1.1	0.6	▲0.2	▲0.1
	銀行貸出金残高	▲2.4	▲2.6	▲2.4	▲2.6	▲0.6	0.0
物 価	* 消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)	100.9	101.4	101.3	100.9	101.3	101.1
その他	* 景気動向指数(先行指数)	42.9	71.4	42.9	57.1	42.9	57.1
	* 景気動向指数(一致指数)	66.7	33.3	44.4	44.4	44.4	55.6

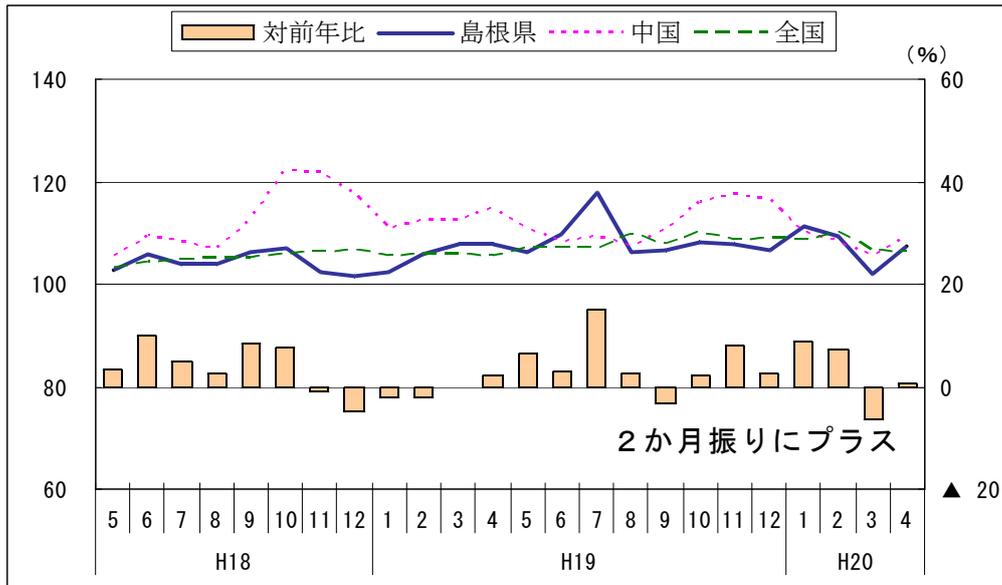
経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	「月例経済報告（内閣府）」 平成20年6月16日
	<p>景気回復は足踏み状態にあるが、このところ一部に弱い動きがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出、生産は、このところ弱含んでいる。 ・ 企業収益は、減少している。設備投資は、おおむね横ばいとなっている。 ・ 雇用情勢は、厳しさが残るなかで、改善に足踏みがみられる。 ・ 個人消費は、おおむね横ばいとなっている。 ・ 住宅建設は、このところ横ばいとなっている。 <p>先行きについては、アメリカ経済が持ち直すにつれ、輸出が増加基調となり、景気は緩やかに回復していくと期待される。ただし、サブプライム住宅ローン問題を背景とするアメリカの景気後退懸念や株式・為替市場の変動、原油価格の動向等から、景気の下振れリスクが高まっていることに留意する必要がある。</p>
中 国 地 方	「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成20年6月12日
	<p>中国地域の景気は、輸出などが堅調であるものの、建設動向などに弱さが見られ、基調として概ね横ばいに推移しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生産動向…横ばいながらも一部に弱い動き 2. 景況感…弱い動き 3. 産業用電力需要…堅調 4. 物 価…消費者物価は7か月連続の上昇 5. 個人消費…おおむね横ばい 6. 設備投資…堅調 7. 建設動向…新設住宅着工は減小 8. 雇用動向…有効求人倍率は一進一退 9. 企業倒産…件数は2か月連続で増加 10. 貿 易…輸出は堅調
山 陰 地 方	「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2008年5月30日
	<p>山陰両県の景気は、横ばい圏内の動きとなっている。すなわち、最終需要面をみると、設備投資は2年連続高伸の後、前年を下回っているが、高水準を維持している。また、個人消費は一部に持ち直しの動きが続いているものの、総じてみれば横ばい圏内の動きとなっている。この間、住宅投資が基調として減少傾向にあるほか、公共投資も減少している。こうした中、生産は増加基調にあるものの、足もと増勢がやや弱まっており、雇用・所得情勢もこのところ改善に足踏みがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産は、増加基調にあるものの、足もと増勢がやや弱まっている。 ・ 個人消費は、一部に持ち直しの動きが続いているものの、総じてみれば横ばい圏内の動きとなっている。 ・ 企業の設備投資（3月短観調査）をみると、2007年度計画は2年連続で前年度を二桁上回っている。2008年度当初計画は2006年度実績、2007年度計画が2年連続で二桁の伸びとなった反動から、前年度を下回っている。 ・ 公共投資は、基調としては減少している。 ・ 住宅投資は、基調としては減少傾向にある。 ・ 雇用、所得情勢は、このところ改善に足踏みがみられる。
山 陰 地 方	「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」 平成20年5月27日
	<p>当地の景気は、公共投資や住宅建設、個人消費などに弱さがうかがえるものの、設備投資は前年を上回る見通しであり、総じて横ばい推移の状況。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共投資は、弱い基調での推移が続く。 ・ 設備投資は、全産業でも前年度を上回る計画（企業動向調査 3月）。 ・ 住宅建設は、基調としては弱い動きが続く。 ・ 個人消費は、基調としては弱含み横ばいでの推移。 ・ 生産は、足元では、やや弱含みでの推移。 ・ 雇用情勢は、総じて弱含み横ばいで推移。 ・ 企業の業況判断は、足元、製造業、非製造業ともに悪化したことから、全産業も悪化（▲21.3→▲22.8）。先行き（08年 9月）については、製造業はやや改善を予想しているものの、非製造業が悪化を予想していることから、全産業も悪化（▲22.8→▲30.7）の見通し（企業動向調査 3月）。
島 根 県	「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」 平成20年4月21日（四半期ごとに公表）
	<p>県内経済は、生産活動で順調な動きが続いているものの、個人消費は持ち直しの動きが鈍化しているほか、雇用情勢は弱含んでいることなどから、持ち直しに向けた動きが足踏みしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費 持ち直しの動きが鈍化 ・ 生産活動 順調な動きが続いている ・ 雇用情勢 弱含んでいる ・ 公共事業 前年度を下回っている ・ 設備投資 19年度は4年連続で増加見込み ・ 企業収益 19年度は増益見込み

経済指標の推移

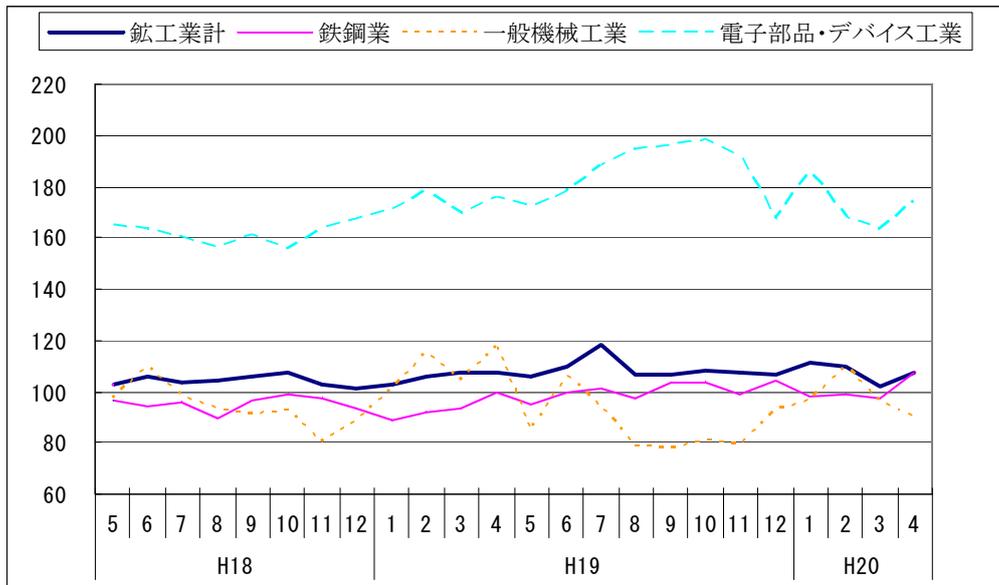
【生産活動】 ～一部に弱い動きがみられるものの堅調に推移～

鉱工業生産指数（季節調整済 平成12年=100、全国は平成17年=100）



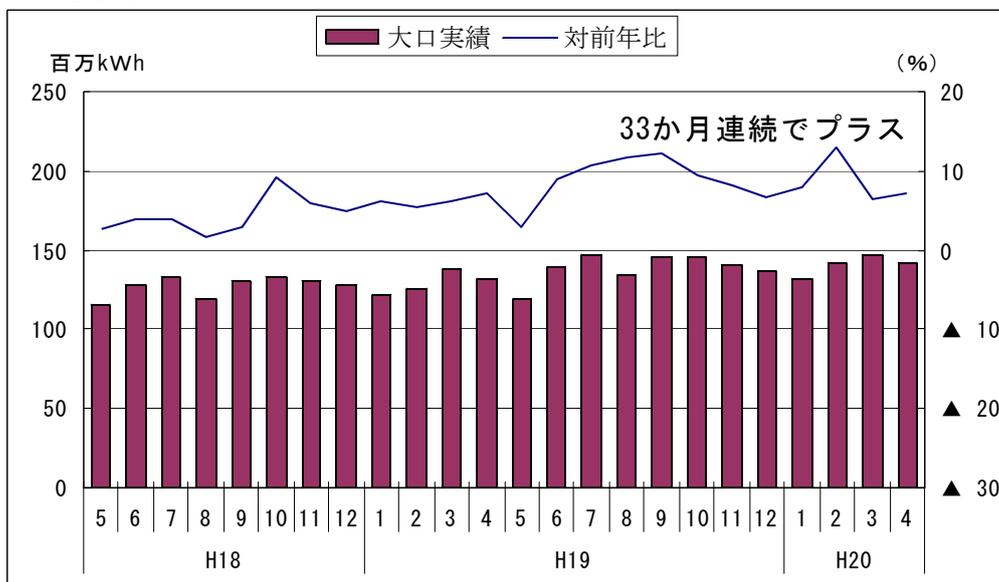
(注) 対前年比は、島根県の原指数 (県統計調査課、経済産業省)

島根県鉱工業生産指数（業種別）



(県統計調査課)

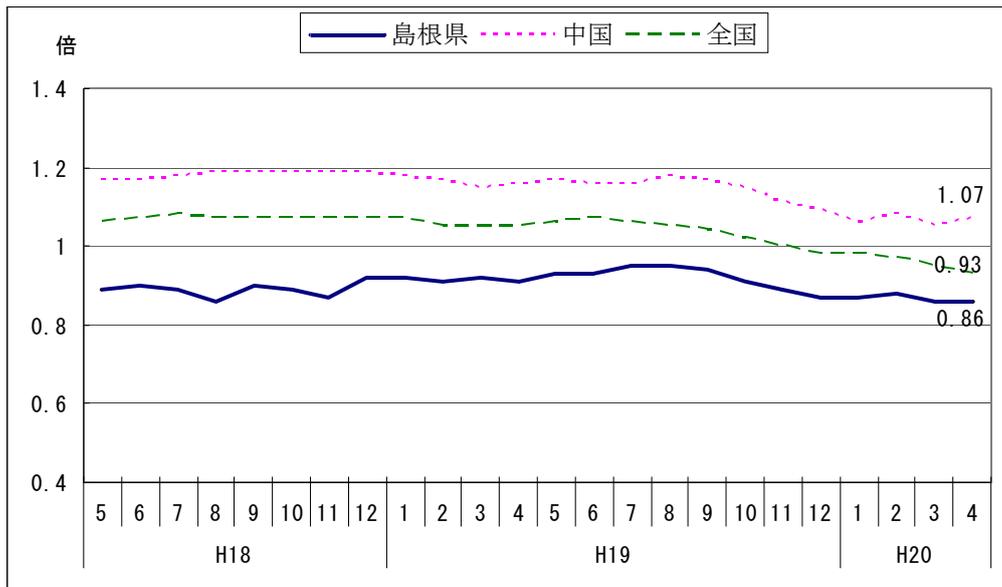
大口電力需要実績



(中国電力株)

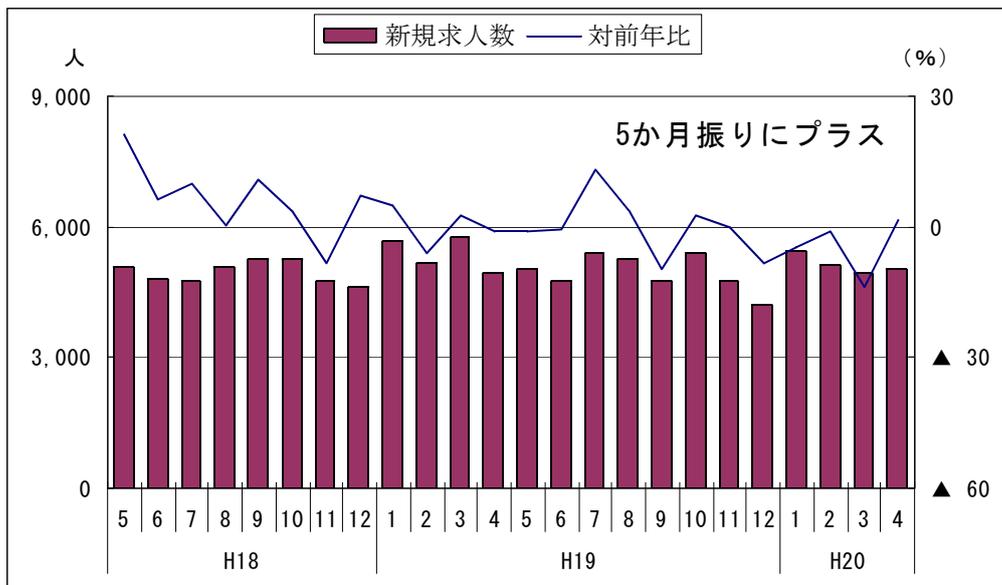
【雇用情勢】 ～弱含んでいる～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



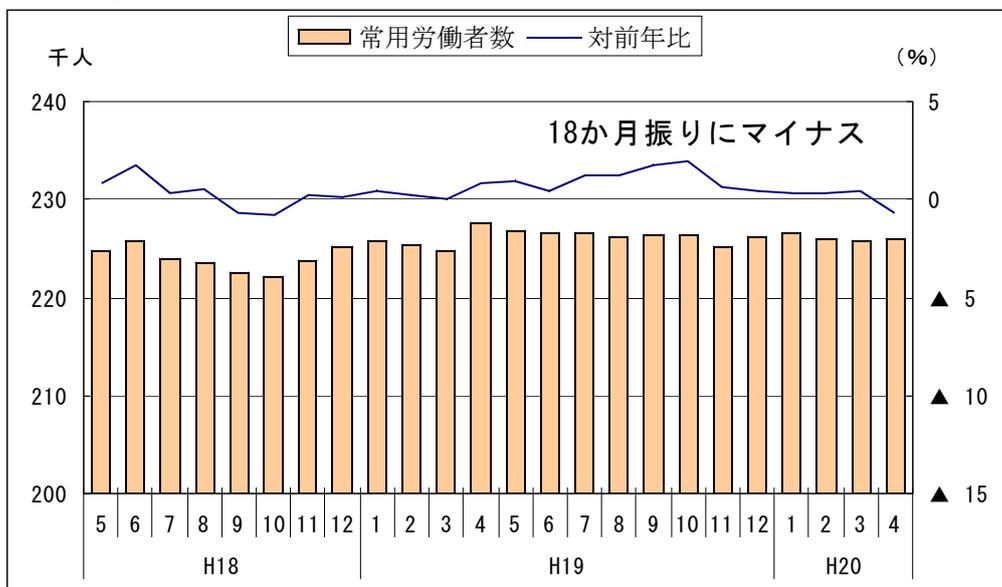
(厚生労働省、島根労働局)

新規求人数



(島根労働局)

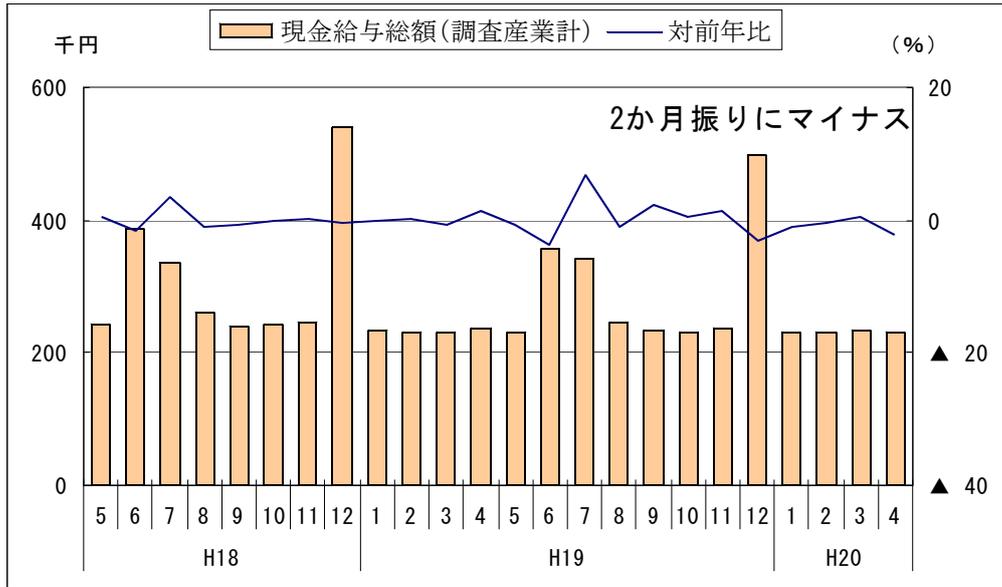
常用労働者数（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

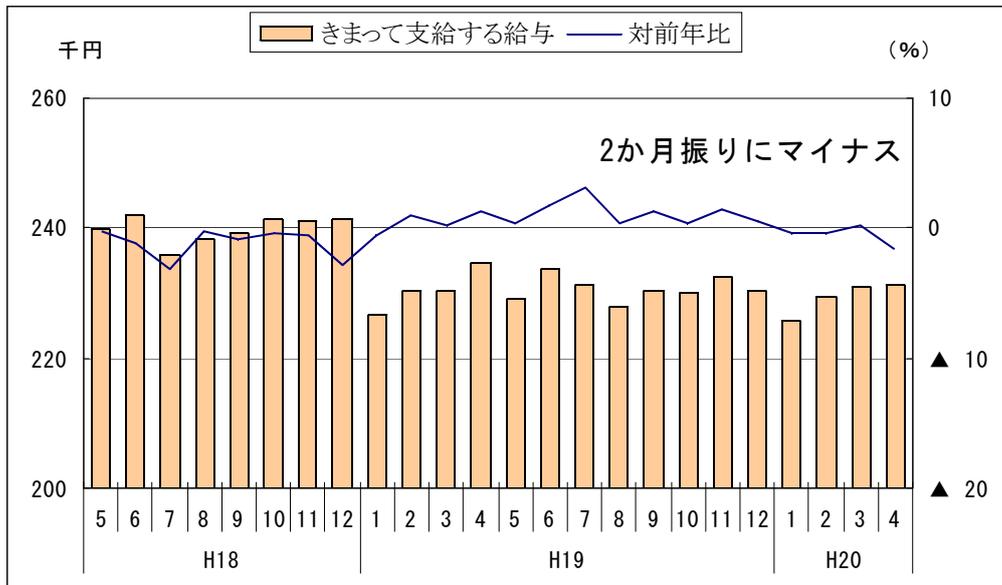
【雇用情勢】 ～弱含んでいる～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



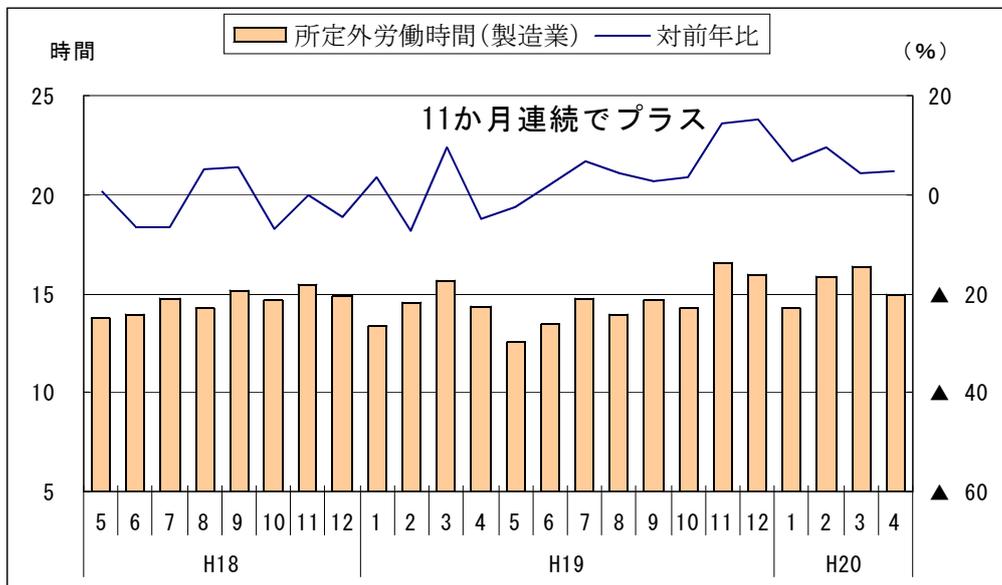
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

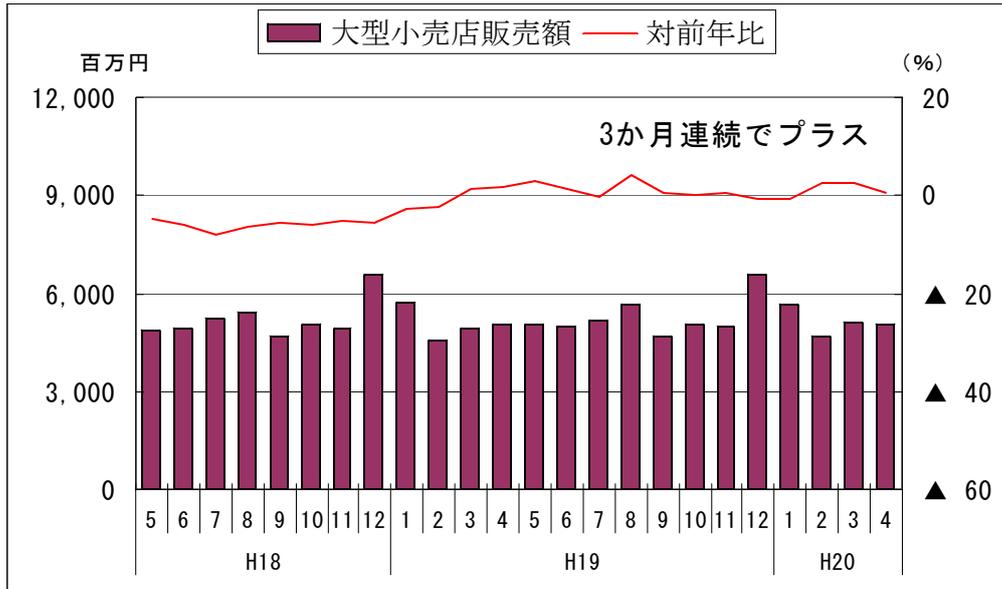
所定外労働時間（5人以上・製造業）



(県統計調査課)

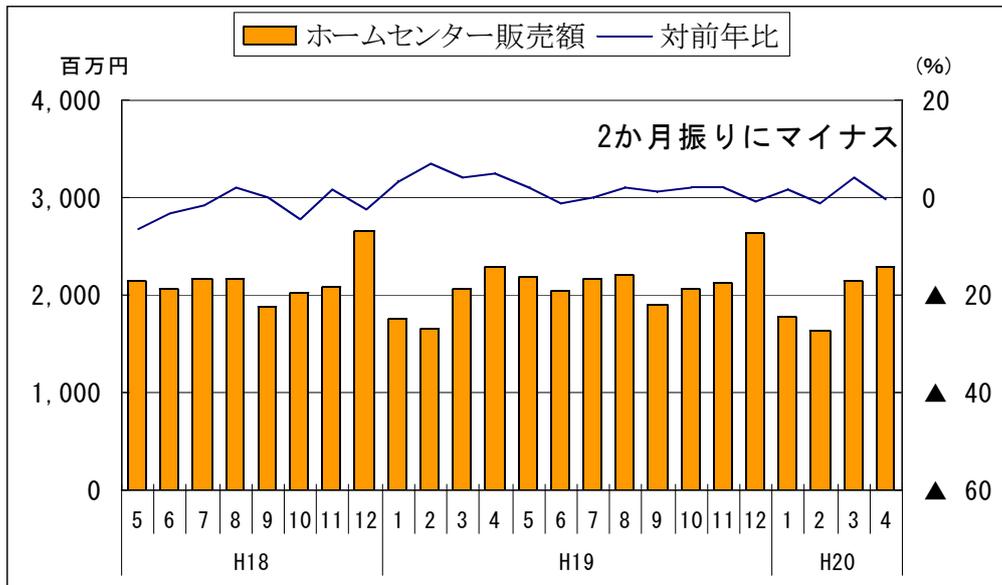
【 個人消費 】 ～おおむね横ばい～

大型小売店販売額



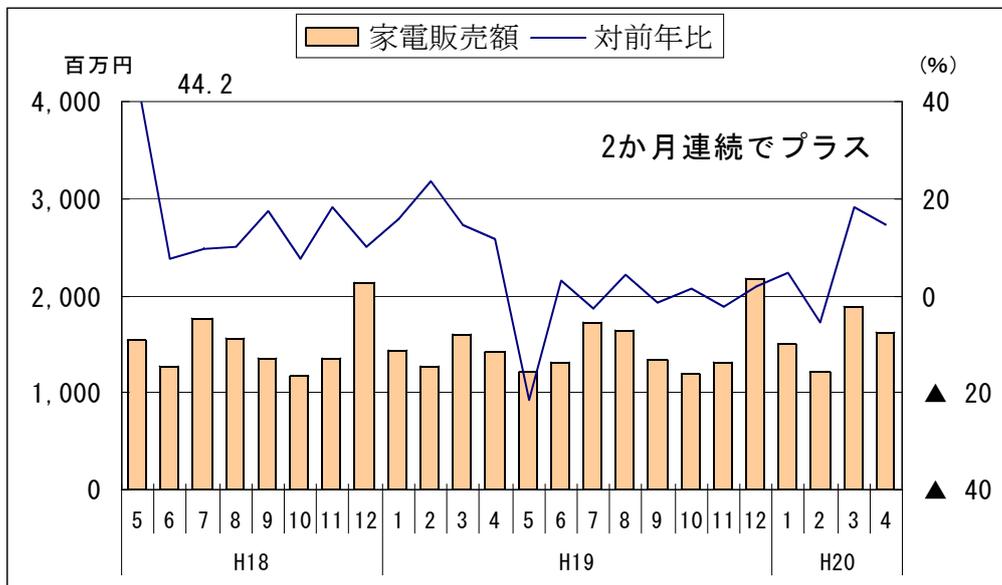
(中国経済産業局)

ホームセンター販売額



(中国経済産業局)

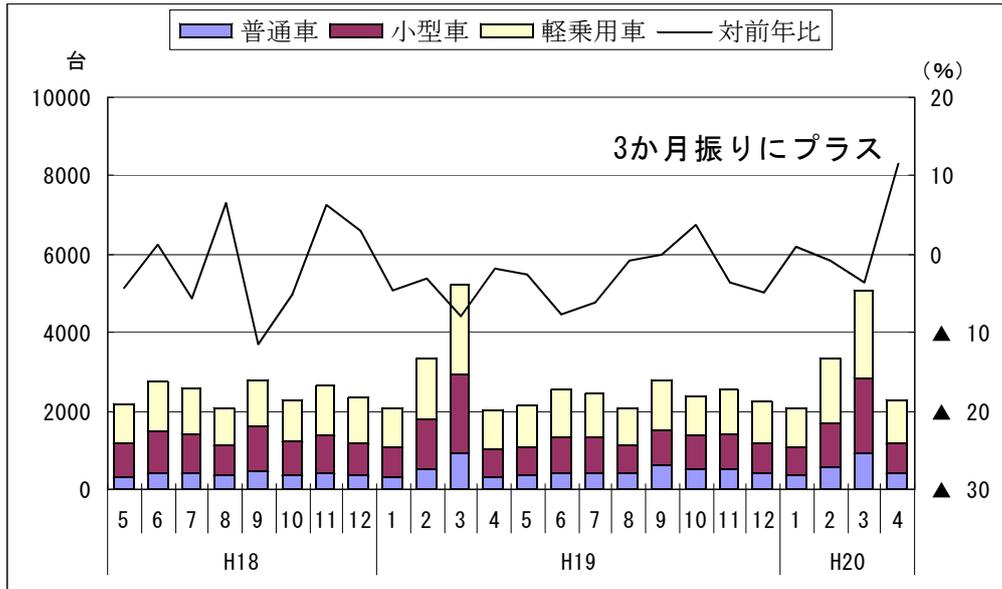
家電量販店販売額



(中国経済産業局)

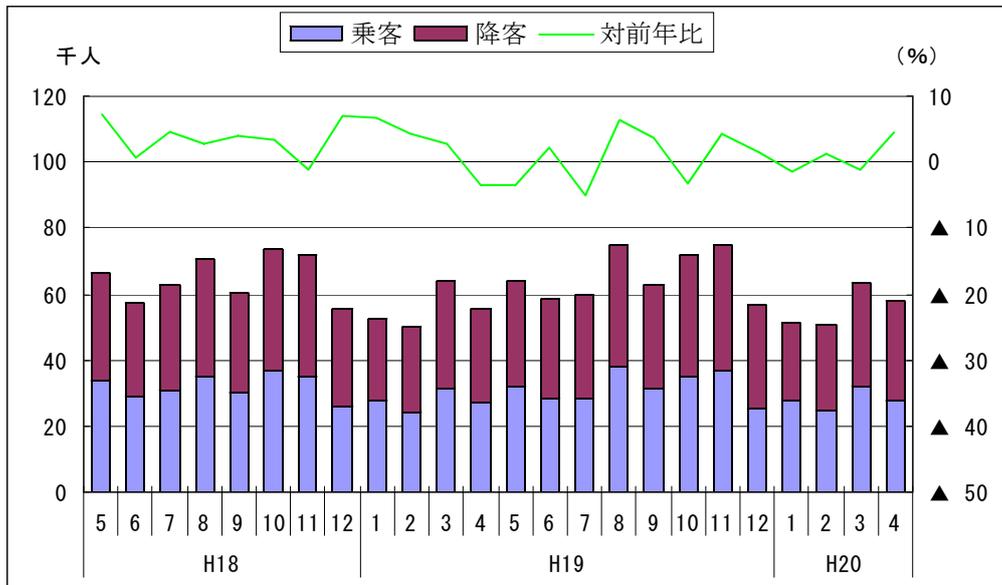
【 個人消費 】 ～おおむね横ばい～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

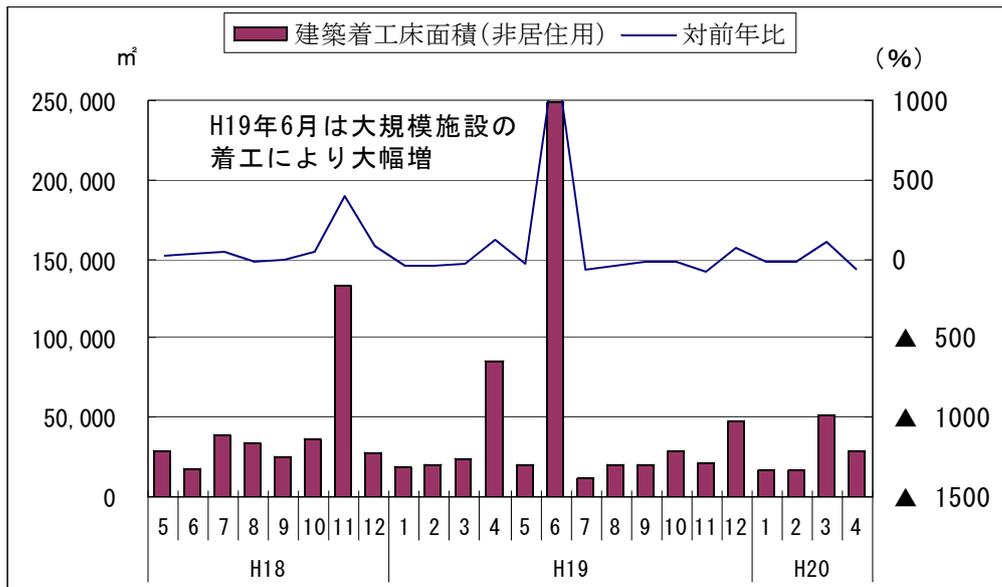
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

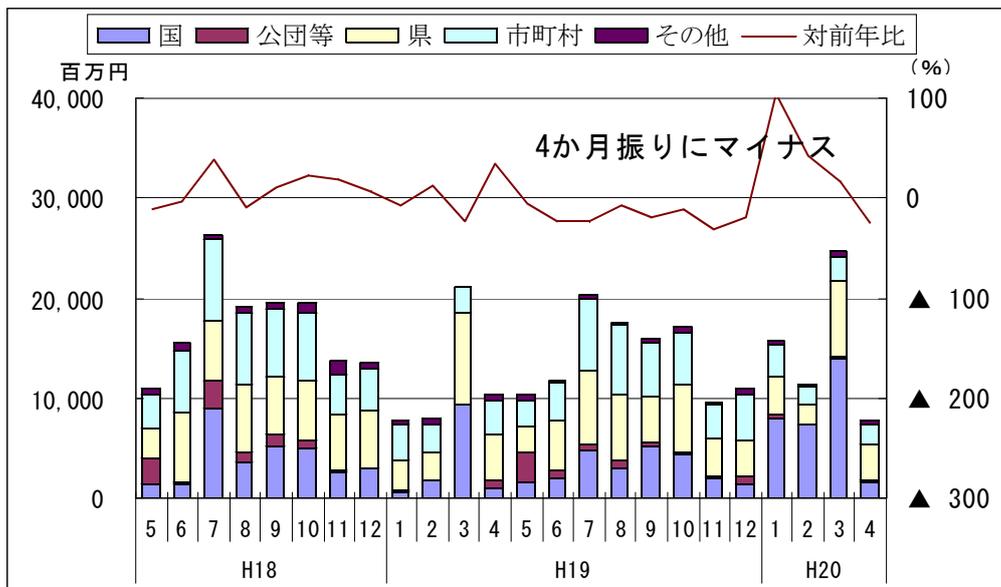
【 投資動向 】 ～基調としては弱い動き～

建築着工床面積（非居住用）



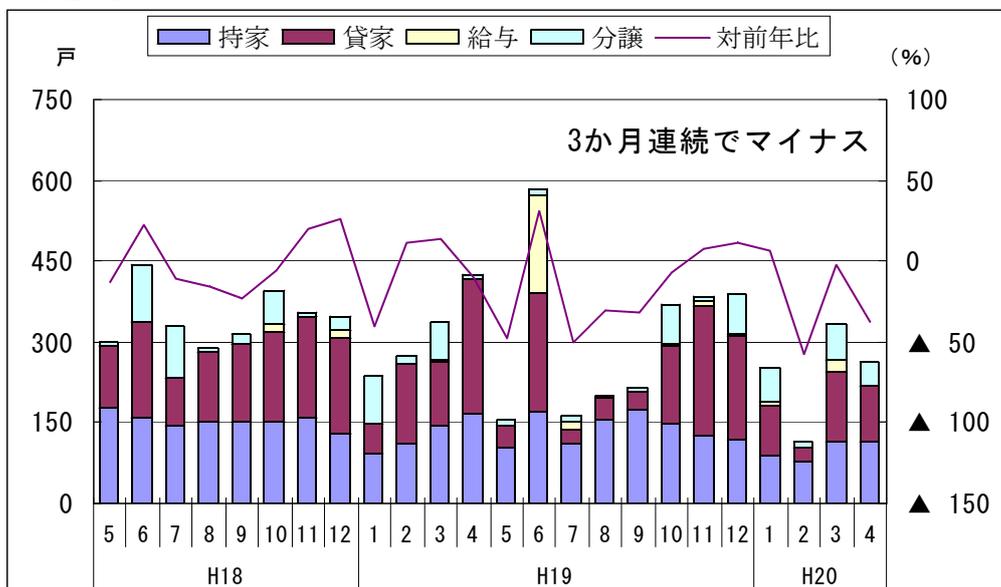
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証株)

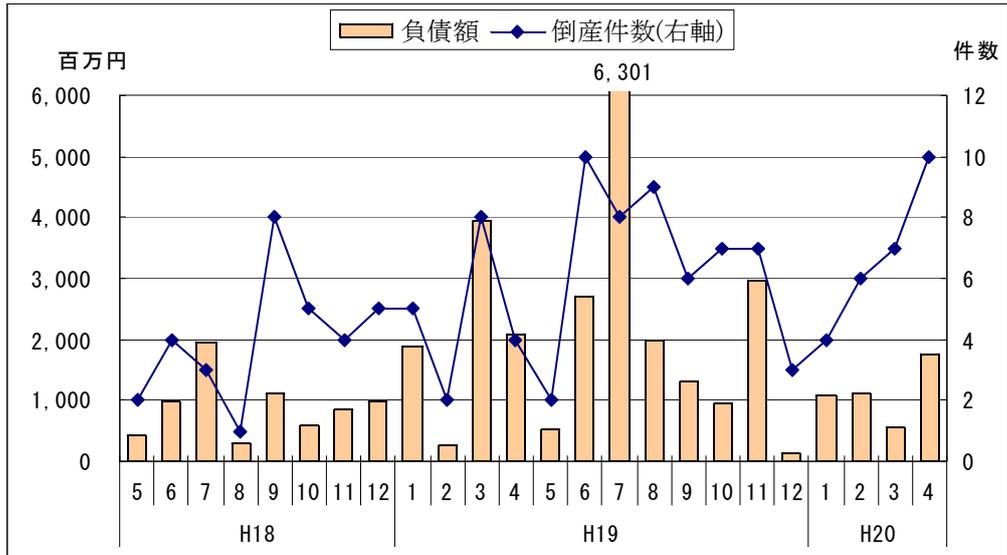
新設住宅着工戸数



(国土交通省)

【 企業倒産 】 ～倒産件数10件～

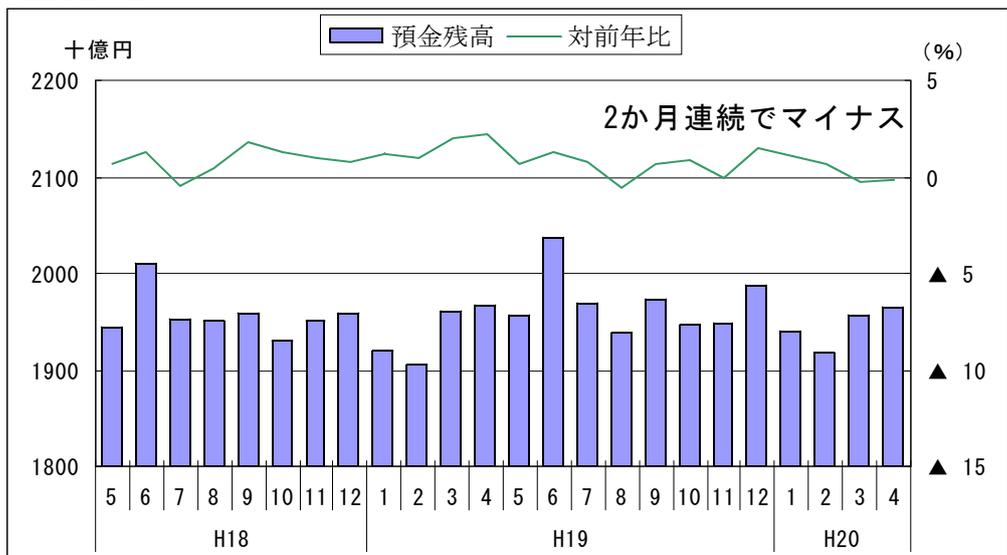
企業倒産件数、負債総額



(株東京商工リサーチ)

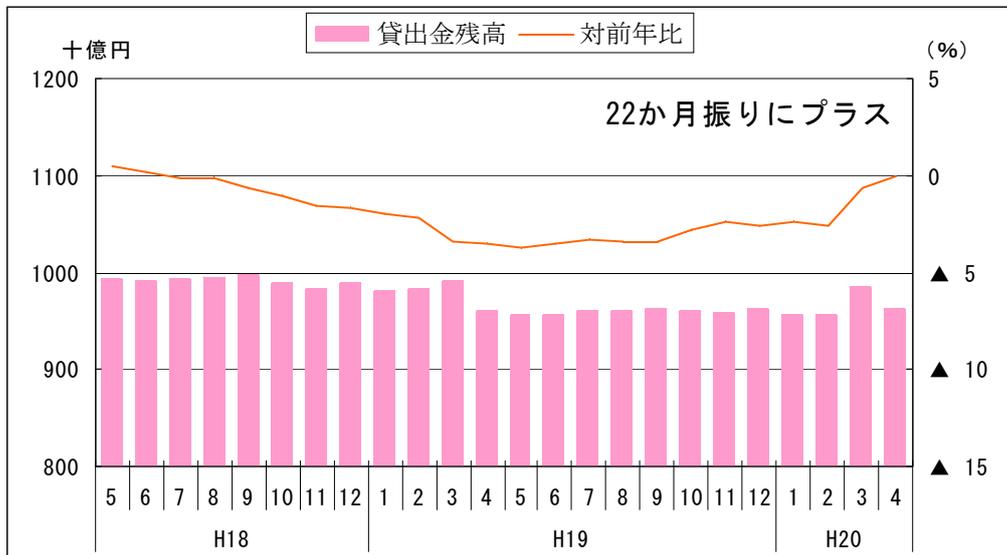
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は、22か月振りにプラス～

銀行預金残高



(日本銀行松江支店)

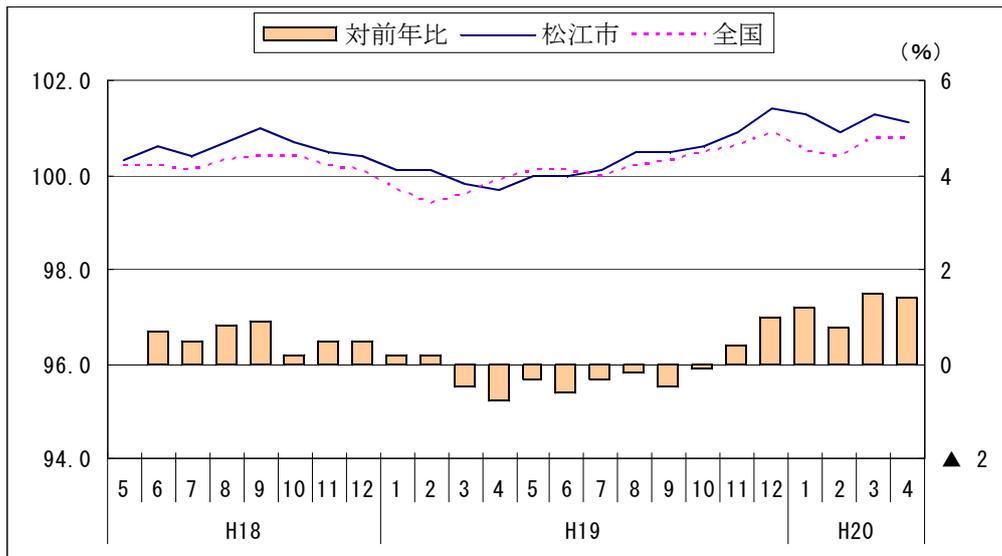
銀行貸出金残高



(日本銀行松江支店)

【物 価】 ～対前年 1.4%の上昇～

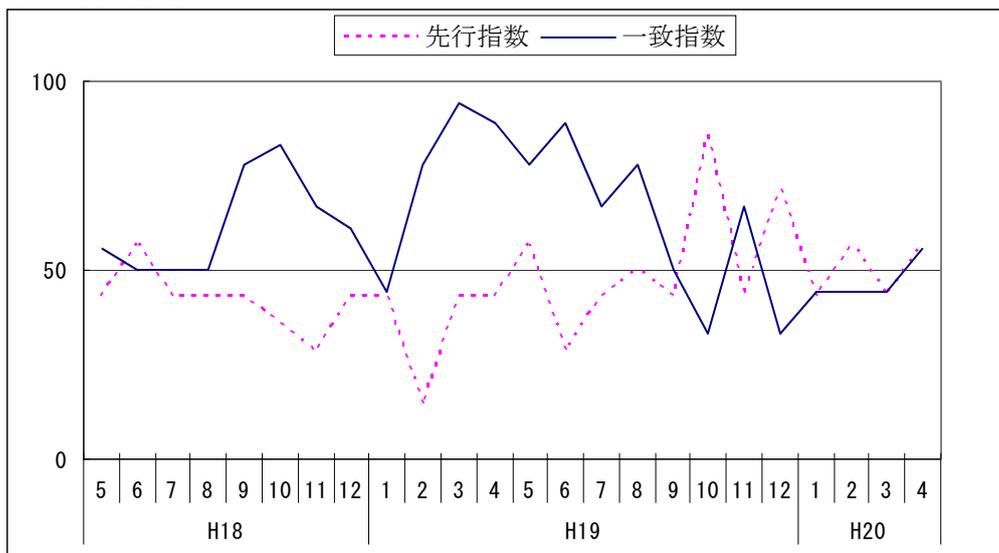
消費者物価指数（生鮮食品を除く総合） H17年=100



(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果（平成20年6月23日 財務省松江財務事務所）

平成20年4～6月期調査

景況判断BSI

(BSI：前期比判断「上昇」－「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区分	20年1～3月 前回調査	20年4～6月 今回調査	20年7～9月 見通し	20年10～12月 見通し
全産業	▲18.6	(▲14.4) ▲30.7	(▲8.2) ▲16.8	▲1.0
製造業	0.0	(▲5.7) ▲34.1	(8.6) ▲12.2	4.9
非製造業	▲29.0	(▲19.4) ▲28.3	(▲17.7) ▲20.0	▲5.0
大企業	0.0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	0.0
中堅企業	▲27.6	(0.0) ▲30.3	(6.9) ▲9.1	6.1
中小企業	▲16.1	(▲22.6) ▲33.9	(▲16.1) ▲22.6	▲4.8

※ () 書きは、前回(20年1～3月期)調査時の見通し。